



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社Sharing Innovations 上場取引所 東  
 コード番号 4178 URL <https://sharing-innovations.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 昂之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 西田 祐 TEL 03 (6456) 2451  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,495	△5.0	△0	-	2	△98.9	△16	-
2022年12月期第2四半期	2,627	23.4	205	10.1	208	9.7	134	11.3

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 △17百万円 (-) 2022年12月期第2四半期 132百万円 (10.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	△4.42	-
2022年12月期第2四半期	35.92	33.14

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,996	1,397	69.9
2022年12月期	2,028	1,413	69.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,396百万円 2022年12月期 1,412百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年12月期	-	0.00	-	-	-
2023年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,840	12.5	185	9.6	183	5.7	110	14.0	29.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	3,793,300株	2022年12月期	3,793,300株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	49,700株	2022年12月期	54,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	3,740,821株	2022年12月期2Q	3,735,525株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの「将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調にありましたが、ウクライナ・ロシア情勢など国際情勢の緊迫化に加え、原材料・エネルギー価格の高騰などのリスクがあり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業であるデジタルトランスフォーメーション事業を取り巻く環境といたしましては、IT人材不足が今後ますます深刻化し、2030年には約45万人程度までIT人材の不足規模が拡大するとの推計結果が出ております。(出所:経済産業省委託事業「IT人材需給に関する調査」)

また、デジタルトランスフォーメーション(DX)のトレンドが進展する中、生産性の向上や業務の効率化を目的にクラウドファースト戦略を実行する企業は引き続き増加傾向となっております。また企業が従来型ITからクラウドへ移行するクラウドマイグレーションは、対象システム領域の多様化が顕著となっており、WEBシステムや情報系システムから基幹系システムへと対象システム領域が拡大しております。2022年の国内パブリッククラウドサービス市場規模は前年比29.8%増の2兆1,594億円になると見込まれており、また2021年～2026年の年間平均成長率は20.8%で推移し、2026年の市場規模は2021年比2.6倍の4兆2,795億円になると予測されております。(出所:IDC Japan株式会社「国内パブリッククラウドサービス市場予測、2022年～2026年」)

このような環境のもと、当社グループのデジタルトランスフォーメーション事業においては人材確保とIT技術の教育により、開発体制強化に努めてまいりましたが、営業や中堅エンジニアのリソースが不足しており、事業の構造を改革するため、営業の体制強化、セールスフォース社との関係性強化、中堅エンジニア層強化による品質向上に取り組んでおります。当第2四半期連結累計期間において、人・組織の最適化、営業・デリバリーの仕組み化を行い、初期の改革のフェーズを脱しました。また、プラットフォーム事業においては新規ユーザー獲得のためのプロモーション施策を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,495,753千円(前年同期比5.0%減)、営業損失282千円(前年同期の営業利益は205,692千円)、経常利益2,208千円(前年同期比98.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失16,547千円(前年同期の親会社株主に帰属する四半期純利益は134,194千円)となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

#### ① デジタルトランスフォーメーション事業

当事業においては、事業開始からM&Aを推進し、同時にIT人材の採用を行うことで開発体制の拡充を進めてまいりました。IT利活用の多様化・高度化に伴い拡大するIT需要を取り込み、各種Webシステム開発、スマホアプリ開発、クラウドインテグレーション等の案件を受注しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,311,543千円(前年同期比5.0%減)、セグメント利益(営業利益)は115,649千円(前年同期比61.3%減)となりました。

#### ② プラットフォーム事業

プラットフォーム事業においては、「チャットで話せる占いアプリ-ウラウラ」を主力としたスマートフォン向けアプリの企画・開発・運営などに取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は195,010千円(前年同期比3.9%減)、セグメント利益(営業利益)は26,487千円(前年同期比19.0%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて32,853千円減少し、1,996,115千円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が44,565千円増加した一方、現金及び預金が59,147千円、のれんが41,820千円減少したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて16,319千円減少し、598,669千円となりました。主な要因は、その他固定負債に含まれる長期末払金が15,239千円減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて16,533千円減少し、1,397,445千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が16,547千円減少したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ59,175千円減少し、693,043千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は57,712千円(前年同期は99,760千円の獲得)となりました。これは主に売上債権の増加44,565千円及び未払消費税等の減少10,569千円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,167千円(前年同期比114,904千円減)となりました。これは主に貸付けによる支出1,500千円、無形固定資産の取得による支出1,100千円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1,150千円(前年同期は168,276千円の使用)となりました。これは主に新株予約権の行使による株式の発行による収入1,150千円があったことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前連結会計年度より構造改革に取り組み、当第2四半期連結累計期間において、人・組織の最適化、営業・デリバリーの仕組み化を行い、初期の改革のフェーズを脱しました。2023年7月から始まる下期以降、コスト最適化と売上拡大の両軸で改革が進み、利益が再創出できる段階に入っております。連結業績予想につきましては、2023年2月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	752,529	693,381
受取手形、売掛金及び契約資産	574,138	618,703
仕掛品	7,999	12,719
その他	89,748	111,280
流動資産合計	1,424,415	1,436,086
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,193	4,703
工具、器具及び備品（純額）	4,640	4,247
有形固定資産合計	10,833	8,951
無形固定資産		
のれん	528,791	486,971
その他	32,157	29,623
無形固定資産合計	560,948	516,595
投資その他の資産		
繰延税金資産	4,268	4,606
その他	28,503	29,876
投資その他の資産合計	32,771	34,482
固定資産合計	604,553	560,029
資産合計	2,028,968	1,996,115
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	275,003	277,285
未払費用	135,081	134,116
賞与引当金	-	2,601
未払法人税等	11,980	28,602
その他	162,444	140,822
流動負債合計	584,509	583,429
固定負債		
その他	30,479	15,239
固定負債合計	30,479	15,239
負債合計	614,989	598,669

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,525	436,525
資本剰余金	433,525	433,525
利益剰余金	655,934	630,339
自己株式	△111,649	△101,444
株主資本合計	1,414,336	1,398,946
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,640	△2,776
その他の包括利益累計額合計	△1,640	△2,776
新株予約権	1,283	1,276
純資産合計	1,413,979	1,397,445
負債純資産合計	2,028,968	1,996,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	2,627,591	2,495,753
売上原価	2,023,925	2,031,612
売上総利益	603,665	464,141
販売費及び一般管理費	397,973	464,423
営業利益又は営業損失(△)	205,692	△282
営業外収益		
受取利息	240	15
為替差益	1,558	436
補助金収入	800	1,339
業務受託料	240	600
固定資産売却益	-	99
営業外収益合計	2,839	2,490
営業外費用		
支払利息	83	-
営業外費用合計	83	-
経常利益	208,448	2,208
税金等調整前四半期純利益	208,448	2,208
法人税、住民税及び事業税	74,701	19,093
法人税等調整額	△447	△337
法人税等合計	74,254	18,756
四半期純利益又は四半期純損失(△)	134,194	△16,547
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	134,194	△16,547



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	134,194	△16,547
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,642	△1,136
その他の包括利益合計	△1,642	△1,136
四半期包括利益	132,552	△17,683
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,552	△17,683

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	208,448	2,208
減価償却費	2,532	6,144
のれん償却額	39,201	41,820
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,218	1,867
受取利息	△240	△15
支払利息	83	-
為替差損益(△は益)	△2,859	△3,129
売上債権の増減額(△は増加)	△115,110	△44,565
棚卸資産の増減額(△は増加)	12,049	△4,746
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△5,426	△37,293
仕入債務の増減額(△は減少)	43,433	2,282
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15,882	△10,569
その他の流動負債の増減額(△は減少)	21,468	△23,839
その他	93	△127
小計	197,009	△69,963
利息の受取額	240	15
利息の支払額	△83	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△97,406	12,235
営業活動によるキャッシュ・フロー	99,760	△57,712
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△600	-
有形固定資産の取得による支出	△13,490	△313
無形固定資産の取得による支出	-	△1,100
貸付けによる支出	△115,000	△1,500
貸付金の回収による収入	-	120
敷金及び保証金の差入による支出	-	△57
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による収入	12,070	-
その他	△1,052	△315
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118,071	△3,167
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	36,000	-
自己株式の取得による支出	△204,276	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	1,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△168,276	1,150
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,602	553
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△184,984	△59,175
現金及び現金同等物の期首残高	952,377	752,219
現金及び現金同等物の四半期末残高	767,392	693,043

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年1月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルトランスフ ォーメーション事業	プラットフォーム 事業	計		
売上高					
クラウド インテグレーション システム	612,655	-	612,655	-	612,655
ソリューション	1,811,931	-	1,811,931	-	1,811,931
その他	-	203,004	203,004	-	203,004
顧客との契約から 生じる収益	2,424,586	203,004	2,627,591	-	2,627,591
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	2,424,586	203,004	2,627,591	-	2,627,591
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,600	-	9,600	△9,600	-
計	2,434,186	203,004	2,637,191	△9,600	2,627,591
セグメント利益	299,171	32,705	331,877	△126,185	205,692

(注) 1. セグメント利益の調整額△126,185千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。  
全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2023年1月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルトランスフ ォーメーション事業	プラットフォーム 事業	計		
売上高					
クラウド インテグレーション システム	507,026	-	507,026	-	507,026
ソリューション	1,793,716	-	1,793,716	-	1,793,716
その他	-	195,010	195,010	-	195,010
顧客との契約から 生じる収益	2,300,743	195,010	2,495,753	-	2,495,753
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	2,300,743	195,010	2,495,753	-	2,495,753
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,800	-	10,800	△10,800	-
計	2,311,543	195,010	2,506,553	△10,800	2,495,753
セグメント利益	115,649	26,487	142,137	△142,419	△282

- (注) 1. セグメント利益の調整額△142,419千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。